

魚津ロータリークラブ会報誌

2015-2016年度 R I 会長 K.R. ラビンドラン

2015-2016年度 魚津RC会長 羽田 陸朗



第2982回 例会

平成15年8月21日

- 1、点鐘・握手
- 2、ロータリーソング 「我らの生業」
- 3、ゲスト並びにビジターの紹介
- 4、誕生祝



- ・8月24日 山澤正和さん
71歳になりました。父親より30年ほど長生きしています。70歳を越ると肩や腰・中・頭・目も衰えてきたことを感じます。趣味や楽しい遊びが長生きの秘訣ではないかと思っています。皆さん教えて下さい。



- ・8月27日 羽田陸朗さんのご夫人
英子は料理が得意です。品揃えが特によく、お陰様で体型が変わらず、服が未だに着れるので、感謝しています。この機会に女房に改めて感謝し、懇親を深めたいと思っています。

5、会長挨拶(羽田会長)

- ・誕生日おめでとうございます。
- ・「ロータリーの友 8月号」にポールハリスが日本にきて植樹をしたことが載っています。太平洋戦争前、1935年のことです。
- ・1945年(昭和20年)ルーズベルトか、チャーチルが血圧200以上でしたので、瀉血(しゃけつ)治療を受けています。
日本人の女性は平均寿命が86歳で世界一です。男性は世界第3位です。昭和30年代後半、健康問題について世界最初の世界プロジェクトに取り組みました。それは「減塩運動」でした。保健所中心に行われ、脳卒中が大幅に減少しました。次に、5~6年前、第2の国家プロジェクト「メタボ検診」が行われました。それらにより、平均寿命世界一になっていると思います。
- ・皆さんも、自分の健康を守るため、寝込まないように、頑張りましょう。

6、幹事報告(川岸幹事)

- ・国際RC2610地区次年度ガバナー補佐に、野沢良成さんに受託していただきました。選考については、理事会に諮り、諮問委員会に相談して決定いたしました。
- ・全国女子大学野球大会についての案内
- ・米山奨学生の卓話依頼が来ています。
- ・8月例会案内
- ・8月のSAA補助は、青山さん、寺崎さんです。



7、ニコボックスの報告(坪野ニコボックス委員長)

- ・寺田祐子さんより、井波国際彫刻キャンプにおいて通訳ボランティアに参加して

います。関係者に敬意を表します。

8、出席報告(仙丸出席委員長)

- ・本日の出席 26名、出席率 86.66%
- 欠席者 4名でした。
- ・2980回のメイクアップ 武隈さん。修正出席率 66.66%でした。



10、国際ロータリー2610地区次年度ガバナー補佐 候補 野沢良成さんより挨拶



- ・第一分区ガバナー補佐については、8年前 根岸さんがしています。入会して13年、インターアクトで8年間地区へ行きました。新世代はわかるが他はわかりません。正式に決まるとご協力お願いします。

11、卓話(愛宕 彰会員委員会副委員長)



(1) 会員増強について

- ・目標は10名です。
- ・商工会議所青年部などとの交流をしてはどうか。
- ・ロータリー精神とは何か。
「私たちの人生はどれだけ得たかではなく、どれだけ与えたか」と今年度のRI会長ラビンドランさんが言っています。

そのロータリー精神の実現のため、大いに活動したいものです、

- ・魚津ロータリークラブに、なぜ会員増強が必要か。
新入会員に学ぶことができるし、ロータリーに活気が出る。
- ・全世界の女性会員の割合(ロータリーの友より)
米国 28%、インドネシア 44%、日本 5.4%、魚津RC 4%であり、まだまだ努力が必要です。
- ・一日も早く、最初の新入会員を迎えたいと思っています。皆様のご協力をお願いします。

(2) 住宅クリーニングについて

- ・18歳の時、大学受験に失敗した。
- ・新聞配達をしながら予備校へ通った。
- ・大学へ行っている友達とともに、大学の授業を受けたところ、受験を断念した。
- ・自分の弱点を克服するため、セールスマンとして営業活動を7年間した。
- ・22歳の時、東京へ行き、住宅クリーニングの会社に就職した。
- ・住宅クリーニングの仕事は、40年余の歴史で、まだまだ成長産業である。
- ・東京で奥さんと出会い、結婚し、アメリカへ行った。
- ・24年前、愛宕美建工業(株)として、創業し現在に至っている。
- ・大学受験は理系であったので、勉強した「化学」などが大いに役立っています。
- ・社会に貢献できる会社として、大きな役割を果たしたいと思っています。

あとがき

- ・自由投稿として、お二人から投稿がありましたのでご披露致します。

(1) 坪野恭久さんより最新の情報を頂きました。

7月14日、「三井アウトレットパーク北陸小矢部」に行ってきた。

まだ、グランドオープン前、地域住民へのご招待があり、当日は、仕事を少々早く切り上げ、家に帰り、駐

車場は混雑していると思い、自転車で行ったが、現地に着いたときは汗だくであった。

プレオープンであったが、店内はお客さまで一杯。有名なブランドなのであろうか、ハーブティのお店は、20～30人の行列もできていた。

個人的には、ブランド品に対する興味もそれほど強くなく、印象は「高岡イオンモールと同じ感じかなあ」ぐらいであったが、例えばスポーツ用品等は「アディダス」、「アシックス」、他、海外のブランドが、同じフロアで固まって施設されており、気にいった商品を選べるという観点からは、「これがアウトレットなんだ」と感じた。

私にとって、アウトレットが来て、一番嬉しいのは、食事に行く所がたくさんできたということである。

小矢部という街は、とにかく、レストラン、飲み屋さんがなく、皆さんのイメージできる市でいえば、滑川と同じくらいお店がないところである。

家族でちょっと夕食を、という時、また、友人が来た時も、砺波に出かけていたものだが、アウトレットで好きなジャンルを選べることは、今後の楽しみである。

私が、魚津に来た時に、周りの人から聞いた話で、「魚津は日本一（人口当たり）飲食店の多い街」という都市伝説を聞いた。

ちょうどよい機会であったので、総務省の統計から、（人口当たり）飲食店の数を調べてみた。

小矢部は滑川と同様、県内最下位クラス、魚津は群を抜いての県内トップ、また、金沢より高いレベルであったが、東京都内を調べてみると、残念ながら、魚津より多い都市もあり、日本一ではなかった。

富山県内の人口当たりの飲食サービス業等の事業所数

	飲食サービス業 等事業所数 (件)	人口 (人)	1万人当り 飲食サービス業 等事業所数 (件/1万人)
魚津市	374	44,959	83.2
高岡市	1,186	176,061	67.4
南砺市	359	54,724	65.6
富山市	2,614	421,953	62.0
氷見市	302	51,726	58.4
砺波市	285	49,410	57.7
黒部市	233	41,852	55.7
小矢部市	126	32,067	39.3
滑川市	111	33,676	33.0
参考:金沢市	3,539	462,361	76.5

参考:東京都には、武蔵野市他いくつかの自治体が100(件/1万人)を超えていた。

- ・寄稿、ありがとうございました。
魚津市の飲食店比率が金沢市より多いとは、驚きです。
これからも関係者のご努力をご祈念いたします。

(2) 稲盛仙三さんより「モンゴル手記」も頂きました。

「モンゴル自治区友好訪問」に参加して

2015-7-14~18まで



富山空港へ11時半に集合して結団壮行式を経て上海空港へ。

市内観光の後に外灘見学、待望の夕食で青島ビールを頂く。ナイフとフォークだけかと思いきや、箸が添えてあり、ほっとする。異国のビールも、料理も、なかなか味なもの。

上海空港から標高1050Mのポウトウ空港へ、中国の国土の広さに圧倒され、20階以上の高層ビルが眼下に建ち並ぶ景色は、モンゴルだとは想像もつきませんで

した。黄河の偉大さを感じながら、黄河大橋をバックに、記念撮影。それから、砂漠での箱船のようなソリに乗って、落差が40Mほど砂すべりの予定でしたが、あまりにもすごい砂嵐のため、歩きでおりました。砂が目、口、髪の毛などに入らないように特殊な頭巾を冠り、まるでギャングのようないでたちで、ラクダに乗り尾てい骨から、火花が出るかと思うほど、ラクダがのっそりのっそりと歩くごとに、悲鳴をあげながらの砂漠の散歩でした。ラクダの背中から見る、見渡す限りの砂漠の広さに圧倒されました。



このクプチ砂漠を緑化植林で日本への黄砂を少しでも減らそうと頑張っている仲間(久保田様)がこのグループにおられる。との説明を受け、とても感動いたしました。20年前の砂漠と、現在を比較する写真を見てびっくり、今回も50万円の緑化事業費を寄付されました。

またこのダラトキ県は、レアアース、カシミア、石炭の産地として有名で、お土産にカシミアのセーターを買ってきました。夜は中華全国青年連合会等の団体との交流会で、民族舞踊を見ながら盛り上がりました。



人口300万人のフフホトへ列車にて移動。2時間の乗車時間は長く感じたが地元の家族の席がなく仲間の一人が席を譲り(全席指定)、言葉は通じなくてもそれが縁で交流が始まり、手真似、口真似等、態度で通じ合い、とても楽しい時間でした。



昼食は遊牧民の家、アオパオ(直径10M位、高さが3M位の円形のドームの形をしたテントのような建物)は羊の皮などで作り、厳冬期のマイナス40度の気温にも耐えられるとのこと、びっくりしました。このアオパオの中で原住民になったような気分になり、とてもおいしくいただきました。

広大なシラムレン草原の中に、ミニダーナムといって、直径100M、高さ10Mほどの円形になっている、大きな土や岩で出来た神の山を、お祈りしながら、3周すると希望が叶うとのこと。

そのあとスタジアムのようなところへ移動、そこでたくさんの観客の中で、モンゴル相撲が始まり、横綱(?)の衣装、その他の民族衣装などを身に着けて、大喝采を浴びていました。また、10数頭の馬に民族衣装を身に着け、走る姿は、遊牧民独特の雰囲気を出していました。

とにかく、草原の広さは、バスで走っても、走っても大草原。モンゴルの奥深さを実感しました。

フフホト市内観光、大召寺モンゴル博物館を見学、どでかい銀の仏像が、齋段に何体もまつられ、龍柱、羊画(羊の毛で作られた壁画)、恐竜や昔の動物の骨、昔の狩猟の様子、民族衣装や宝物など、たくさん展示されていました。



今回の旅行で、モンゴルの雄大さと、素朴さを感じとれた。

これも、みんなの和気あいあいとした友情と、家族やいろいろな皆様のご協力のおかげと感謝しております。

心から御礼申し上げます。

感謝 感謝



・楽しい旅、よかったですね。
お便りありがとうございました。

* 台風15号もいろいろの条件で到着前に消えたり、方向が変わったりで、直接悪影響を受けることが無く、よかったという声とともに、立山連邦のお陰だと感謝の声もよく聞こえます。

「晴れてもよし、曇りてもよし 富士の山 もとの姿はかわらざりけり」(山岡 鐵舟詠)

「晴れてもよし、曇りてもよし 立の山 感謝心かわらざりけり」(よみ人知らず)

* 皆さんからのお便りをお待ちしています。